

BEN SHAHN:
CROSS MEDIA ARTIST
2011-2012

ベン・シャーン クロスメディア・アーティスト
— 写真、絵画、グラフィック・アート —

Ben Shahn: Cross Media Artist / Photographs, Paintings and Graphic Arts

2011 年 12 月 3 日(土)~2012 年 1 月 29 日(日)

神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1

tel. 046-875-2800 / fax. 046-875-2968 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

開館時間: 午前 9 時 30 分~午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

休館日: 月曜日(1 月 9 日は開館)、12 月 29 日(木)~2012 年 1 月 3 日(火)

観覧料: 一般 1,100 円(団体 1,000 円)、20 歳未満・学生 950 円(団体 850 円)

65 歳以上 550 円、高校生 100 円

※ () 内は 20 名以上の団体料金です。

※ 中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。

※ ファミリー・コミュニケーションの日: 毎月第 1 日曜日(今回は 12 月 4 日)は、18 歳未満のお子様連れのご家族は優待料金(65 歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

主 催: 神奈川県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協 賛: ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網

同時開催

神奈川県立近代美術館 鎌倉 tel. 0467-22-5000

「開館 60 周年 シャルロット・ペリアンと日本」~2012 年 1 月 9 日(月・祝)

「生誕 100 年 藤牧義夫展」2012 年 1 月 21 日(土)~3 月 25 日(日)

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館 tel. 0467-22-7718

「開館 60 周年 日本画一ザ・ベスト・コレクション」~2012 年 3 月 25 日(日)



01

01

《解放》

1945 年、グアッシュ・ボード

The Museum of Modern Art, New York

James Thrall Soby Bequest 1249.1979

© Estate of Ben Shahn/VAGA, New York & SPDA, Tokyo, 2011

[本展のみどころ]

ニューヨークを舞台に活躍し、日本の美術・デザインに大きな影響を与えたアメリカの画家ベン・シャーン(1898-1969)の20年ぶりの回顧展です。

ベン・シャーンは、1898年、バルト海に近いコヴノ(現在のリトアニアのカウナス)のユダヤ人家庭に生まれます。1906年にアメリカへ移住後、ニューヨークの石版画製作所で徒弟修業をしながら夜間高校や大学に通い、ヨーロッパ旅行を経て画家への道を歩みだしました。1930年代、不況下のニューヨークで社会の不正義に対して声をあげた作品《サッコとヴァンゼッティ》シリーズが注目されます。同じころ、ニューヨークやアメリカ中西部の人々の暮らしを写真に撮り、写真家としても活躍するようになりました。

その後のシャーンの活動は、絵画制作にとどまらず、ポスターや本の装丁にも及び、粟津潔や和田誠など戦後日本のイラストレーターたち、阿部展也や麻生三郎、吉井忠などの美術家に大きな影響を与えました。1960年に来日した折には、何人ものアーティストがシャーンのもとを訪れています。

今回の展覧会では、ボストンのフォッグ美術館の協力を得て300点近い写真画像を公開します。その多くが、シャーンの絵画のイメージソースになりました。また、1960年来日時シャーンが撮影した写真を初めて展示します。

国内外からテンペラ、水彩、ドローイング、ポスター、版画、素描など数百点を集め、写真を含めた総展示点数が600点におよぶ本展では、社会や人間の存在から目をそらさずに、伝えるべき何かを見失わなかったシャーンの、複数のメディアを行き交う展開がみどころです。



02
《W.P.A. サンデー》
1939年、グアッシュ・紙
福島県立美術館
© Estate of Ben Shahn / VAGA, New York &
SPDA, Tokyo, 2011

[禁転載 著作権使用許可申請必要]



03
《ウエスト・ヴァージニア州、スコッツ・ラン、オマー》
1935年、写真
Harverd Art Museums / Fogg Museum Gift of
Bernarda Bryson Shahn

[禁転載]



04

《京都市, 河原町通、映画館文映》

1960年写真、Harverd Art Museums /Fogg Museum
Gift of Bernarda Bryson Shahn

[禁転載]

[本展の関連プログラム]

[関連プログラムについて]

各プログラムの詳細・申込先・方法などは本展情報サイトをご覧ください

<http://www.benshahn2011-12exh.info>

お問合せ tel. 046-875-2800(神奈川県立近代美術館 葉山)

[シンポジウム]

「ベン・シャーンと日本・アメリカ」

発表者: ミリアム・ステュワート(ハーバード美術館学芸員)

ロジャー・パールバース(演出家・劇作家)

荒木康子(福島県立美術館学芸員) ほか

12月3日(土) 13:30~

神奈川県立近代美術館 葉山 講堂

聴講無料(要申込、先着順受付)

12月4日(日) 13:30~

東京ミッドタウン・デザインハブ(インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター)

聴講無料(要申込、先着順受付)

プログラム内容、定員、申込方法等、詳細は本展情報サイトをご覧ください。

後援: 社団法人日本グラフィックデザイナー協会

協力: 公益財団法人日本デザイン振興会

助成: ポーラ美術振興財団

[講演会 1]

「写真家としてのベン・シャーン」

講師: 飯沢耕太郎(写真評論家)

12月10日(土) 14:30~16:00

神奈川県立近代美術館 葉山 講堂

聴講無料・定員 50名(要申込、先着順受付)

[講演会 2]

「歌う線描、奏でるドローイング~ベン・シャーンのLPジャケットが伝えるメッセージ~」

講師: 沼辺信一(編集者、本展出品者、LPレコード収集・研究)

2012年1月8日(日) 14:30~16:00

神奈川県立近代美術館 葉山 講堂

聴講無料・定員 70名(要申込、先着順受付)

[コンサート]

「即興演奏一音／ベン・シャーン／空間」

演奏者：かみむら泰一(サクソ)、芳垣安洋(パーカッション) ほか

12月24日(土) 13:30~/15:00~ 2回公演

神奈川県立近代美術館 葉山 展示室

無料(ただし展覧会の観覧券が必要です)・申込不要

[ワークショップ]

「気持ちを言葉に、言葉をカタチに」

講師：和合亮一(詩人)

12月18日(日) 11:00~16:30

神奈川県立近代美術館 葉山 展示室・講堂

有料 定員 40名(要申込、先着順受付。展覧会の観覧券及び保険料等が必要です)

[展覧会鑑賞会]

「冬の鎌倉・葉山一展覧会鑑賞の一日」

12月10日(土) 10:00~16:00

午前に鎌倉館、午後に葉山館の展覧会を学芸員がご案内し、葉山館講堂で飯沢耕太郎氏の講演会を聴講します。移動と昼食は各自でお願いします。

定員 20名(要申込、先着順受付)

◇鎌倉館と葉山館の観覧券が必要です(鎌倉館の有料観覧券[65歳以上券、高校生券を除く]半券の提示により葉山館では優待料金の観覧券がご購入いただけます)

[担当学芸員によるトーク]

「ベン・シャーン展ができるまで」

2012年1月14日(土)、22日(日) 各回 14:00~14:30

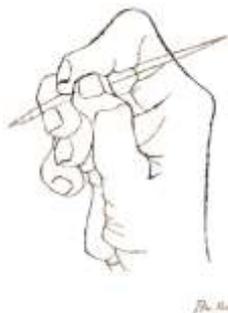
講堂・聴講無料・定員 70名(申込不要、当日先着順受付)

[先生のための特別鑑賞の時間]

2012年1月7日(土) 10:00~12:00

対象 小・中・高・特別支援学校の教員・職員

(要申込、詳細はホームページをご覧ください)



05

『版画集：リルケ「マルテの手記」より：一行の詩のためには…』

《一篇の詩の最初の言葉》

1968年、リトグラフ・紙

神奈川県立近代美術館(麻生三郎コレクション)

© Estate of Ben Shahn / VAGA, New York & SPDA, Tokyo, 2011

[禁転載 著作権使用許可申請必要]

[本展情報サイト] <http://www.benshahn2011-12exh.info>

本展の内容とみどころ、シンポジウムや関連企画の詳細情報などを配信中。
このサイトは、本展をより一層楽しんでいただく情報をお伝えするため、開催各館が協力して運営しています。

【広報用の作品画像の使用について】

このプレスリリースに掲載している作品画像 01、02、05 については美術著作権協会への著作権使用許可申請が必要であり、使用する画像のサイズ等により異なりますが、使用料が発生します。作品画像 03、04 については著作権使用許可申請と使用料は必要ありませんが、キャプションの表記は必要です。
広報用の作品画像については広報担当までお問合せください。

[お問合せ先]

神奈川県立近代美術館 葉山
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1
tel. 046-875-2800 / fax. 046-875-2968

広報担当： 土居由美、鈴木智香子
展覧会担当： 李美那、橋秀文、松尾子水樹

美術館についての最新情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

